

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 82 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1 日 時 2020 年 2 月 6 日 (木) 10:00～12:05

2 場 所 5 東洋海事ビル D 会議室

3 出席者 (順不同, 敬称略)

(出席委員) 高橋部会長, 加藤副部会長, 田村幹事, 浅野, 大間, 小畑, 久野, 久保, 坂下,
佐々木, 白井, 立川, 田中, 藤田, 元辻, 柳原, 山本 (17 名)

(欠席委員) 小山, 齊藤, 中島, 林(4 名)

(代理委員) 田中 正人 (関西電力) / 片岡委員, 北山 一美 (東京工業大学 / 高橋委員),
上田 真三 (三菱マテリアル / 中澤委員) (3 名)

(常時参加者) 川村 (1 名)

(欠席常時参加者候補) 浅見 (海上・港湾・航空技術研究所) (1 名)

(オブザーバ) 高月 英毅 (輸送容器分科会幹事 / 原燃輸送) (1 名)

(説明者) 【LLW 放射能評価分科会】北島幹事, 【リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事, 松
本務委員, 【LLW 処分安全評価分科会】村松幹事, 中居委員, 【原子燃料サイクル
専門部会】田村幹事, (延べ 6 名)

(事務局) 田老, 谷井, 牧野 (3 名)

4 配付資料

FTC82-0 第 81 回原子燃料サイクル専門部会議事次第 (案)

FTC82-1 第 80 回原子燃料サイクル専門部会議事録 (案)

FTC82-2 人事について

FTC81-3-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準” 改定の中
間報告に関する標準委員会意見募集結果について

FTC82-3-0 “ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手
順:20XX” の転載許諾の状況について

FTC82-3-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 201X” 標準
改定原案に関する決議投票結果について

FTC82-3-2-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 201X” 標準
改定原案に関する当専門部会決議投票で頂いた意見の対応について

FTC82-3-2-1 (別紙) 金属キャスク標準と輸送容器標準との棲み分けについて

FTC82-3-2-2 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 201X” 標準
改定原案に関する当専門部会決議投票で頂いた意見の対応について (分科会委員
追加コメント対応)

FTC82-3-2-3 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準: 2020” (改
定案)

- FTC82-3-2-4 中間報告及び標準改定提案説明の手順について
- FTC82-4-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編－” 標準原案に関する当専門部会で頂いた意見に対する対応について
- FTC82-4-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編－” 標準原案の中間報告に関する意見募集結果について
- FTC82-4-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編－” 標準原案に関する標準委員会中間報告後の標準委員会意見募集で頂いた意見の紹介について
- FTC82-5 学協会規格高度化 WG 報告書 (案) が挙げる論点への対応の検討結果について (情報提供)
- FTC82-6-1 現行標準の分類の検証と体系化の検討について
- FTC82-6-2 学協会規格高度化 WG 報告書 R9 統合版 (抜粋版_FTC82-6-1 参考)
- FTC82-7 原子燃料サイクル専門部会 標準策定 5 カ年計画 (2020 年度版案)
- FTC82-7 別紙 新知見情報の確認
- FTC82-8 原子燃料サイクル専門部会・分科会倫理教育の受講実績
- FTC82-9 現行標準の 5 年毎の改定実施状況の調査について
- FTC82-10 分科会活動状況
- 参考資料
- FTC82-参考 1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿 (案)
- FTC82-参考 2 原子燃料サイクル専門部会出席実績
- FTC82-参考 3 専門部会・分科会運営ガイドライン：20XX (案)

5 議事内容

(1) 出席者確認

事務局から開始時、委員 24 名中 20 名が出席しており、成立に必要な定足数 (16 名以上) を満足している旨報告された。

(2) 前回議事録 (案) の確認 (FTC82-1)

前回議事録 (案) について事前に配付されていた内容で承認された。

(3) 人事 (FTC82-2)

事務局から FTC82-2 に基づいて、専門部会の人事について以下の提案があり、審議の結果、専門部会の委員再任、常時参加者登録承認が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員再任

齊藤 拓巳 東京大学 2020.05～2022.04

(2) 常時参加者登録承認

浅見 光史 海上・港湾・航空技術研究所

【分科会】

なし

(4) 報告・審議

1) 【報告・審議】(FTC82-3-0)

“ピット処分及びトレンチ処分対象廃棄物の放射能濃度決定に関する基本手順:20XX”の転載許諾の状況について

(担当: LLW 放射能評価分科会 北島幹事)

LLW 放射能評価分科会 北島幹事から FTC82-3-0 に基づき、題記の転載許諾の対応について説明があり審議の結果、追記は編集上の修正であること及び次回標準委員会で報告することが決議された。また、標準活動基本戦略タスクで標準委員会への審議可否判断を頂くことになった。

2) 【報告・審議】(FTC82-3-1, FTC82-3-2-1, FTC82-3-2-2, FTC82-3-2-3, FTC82-3-2-4)

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準:201X”標準改定原案に関する当専門部会決議投票結果及び頂いた意見への対応について

(担当: 事務局, リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事, 松本務委員)

事務局から FTC81-3-1 に基づき、題記標準改定原案に関する決議投票結果可決された旨の報告があった。また、賛成で3名の委員から意見があったことについて報告があった。引き続きリサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事, 松本務委員から FTC82-3-2-1, FTC82-3-2-2, FTC82-3-2-3, FTC82-3-2-4 に基づき、受け付けた意見(一部)への対応案及び中間報告及び標準改定提案説明の手順等について説明された。審議の結果、今回説明のあったコメントに対する回答については了承され、残りのコメント回答を次回報告することになった。

主な質疑は以下。

C: 最新JISの反映は、本標準については、既に標準改定のプロセスに入っているため、経過措置で良いが、他の標準について経過措置をどの範囲までとするかをタスクへの申し送り事項にして、次回タスクで議論してもらうこととする。

C: 専門部会への本報告後、分科会レベルで編集上の修正が行われているが、本報告前に当該分科会で記載内容についての品質を確保するようお願いする。

3) 【報告・審議】(FTC82-4-1, FTC82-4-2, FTC82-4-3)

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法—中深度処分編—”標準原案に関する当専門部会で頂いたご意見の反映状況報告及び標準委員会中間報告後の標準委員会意見募集結果の紹介について

(担当: 事務局, LLW 処分安全評価分科会 村松幹事, 中居委員)

LLW 処分安全評価分科会 村松幹事, 中居委員から FTC82-4-1 に基づき、題記標準改定原案に関する意見募集で頂いた意見の対応について説明、また、事務局から FTC82-4-2 に基づき、標準委員会中間報告後の標準委員会意見募集結果、3名の委員から意見があったことについて報告があった。引き続き LLW 処分安全評価分科会 村松幹事, 中居委員から FTC82-4-3 について標準委員会意見募集で頂いた意見の対応について説明があり審議の結果、当専門部会の意見対応は良いが、標準委員会意見募集で頂いた中深度処分の安全評価標準案に関する意見対応については、分科会で議論して次回検討状況を報告することになった。

主な質疑は以下。

C: 標準委員会での意見については、安全評価に対する意見だけではなく、体系的な整理も求められている。時間は掛るが体系的な整理を行い説明していくこととなる。単独の分科会での対応は困難であると思うので専門部会のタスクで検討していけばいいのではないかと。タスクについては、別途専門部会3役で調整し決めていく。

C: LLW処分安全評価分科会は標準委員会意見に対する回答方針の検討を行うとともに、関連する分科会は、標準・指針・ガイドについて改めて整理しておくこと。

A: 関連する分科会にも情報を共有し検討を進めていくこととする。

4) 【審議】(FTC82-5)

学協会規格高度化WG報告書(案)が挙げる論点への対応の検討結果について

(担当:原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事から FTC82-5 に基づき、題記について報告され審議の結果、了承された。

5) 【報告・審議】(FTC82-6-1, FTC82-6-2)

現行標準の分類の検証と体系化の検討について

(担当:原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事から FTC82-6-1, FTC82-6-2 に基づき、題記について報告され審議の結果、所定の分科会で検討していくことが了承された。

主な質疑は以下。

C:IAEAの安全基準体系を踏まえると、放射性廃棄物の処分前管理が必要になるが、所掌が本専門部会なのか廃止措置を検討している基盤応用・廃炉技術専門部会なのか明確にする必要がある。

C:全体体系を検討するには、原子力学会だけでなく、電気協会、機械学会とも連携していく必要がある。

6) 【報告・審議】(FTC82-7, FTC82-7 別紙)

標準策定5か年計画の更新について

(担当:原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事から FTC82-7, FTC82-7 別紙に基づき、題記について報告され審議の結果、本日のコメントを反映したものを三役で確認・判断して次回標準委員会に報告することが決議された。また、田村幹事より、別紙の“新知見情報の確認”への追記についてお願いがあった。

7) 【報告・審議】(FTC82-8)

倫理教育の受講実績について

(担当:原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事から FTC82-8 に基づき、題記倫理教育の受講実績について報告され審議の結果、次回標準委員会に報告することが決議された。各分会には、引き続き未受講者のフォローのお願いがあった。

8) 【報告】(FTC82-9)

現行標準の5年毎の改定実施状況の調査について

(担当:原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事から FTC82-9 に基づき、題記について報告された。題記内容について特に質疑はなかった。

9) 【報告】(FTC82-10)

原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について

(担当:各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者からFTC82-10に基づき、分科会の活動状況について報告があった。

10) 【その他】(FTC82-参考3)

事務局から FTC82-参考3 に基づき、“専門部会・分科会運営ガイドライン:20XX” 制定について紹介があり、現在基本戦略タスクでコメント依頼中であり、後日皆様にコメント依頼を実施することが報告された。また、現時点で、コメント有れば、事務局に連絡頂くようお願いがあった。

6 その他

次回は、2020年5月11日（月）13:30からの開催に決定した。

後日、諸般の事情で、開始時刻を30分遅らせ、同日14:00からの開始とし、事務局ら委員、常時参加者に時間変更の連絡を行った。

（その後、2020年7月27日（月）13時から開催することに変更になった。）

以上